

AI勉強会（出前講座） を実施します

本市とAIを活用した海ごみ(堆積場所)の分析・見える化に取り組む(株)Solafuneの技術者が、海ごみ問題に取り組む山陽学園中学校・高等学校地歴部にて出前講座を開催します。

1 日時

令和6年2月11日(日) 10時～17時

2 場所

山陽学園中学校 山陽学園高等学校 新校舎
(中区門田屋敷二丁目)

3 内容

本勉強会では、基本的なプログラム技術を学び、生徒が撮影・収集したポイ捨てごみの写真を分類するAI作成を実習します。

○対象 山陽学園中学校・高等学校地歴部 15名程度

○講師 (株)Solafune

プロジェクトマネージャー兼データサイエンティスト 佐藤 功一

テックリード(技術領域全般の開発) 光武 亨

4 その他

- ・山陽学園中学校・高等学校地歴部は、ごみ放置情報を集約するアプリを開発し、アプリ利用者からの情報で放置ごみを可視化するなど、新しい技術で海ごみ問題に取り組んでいます。
- ・同校ではごみの分類を手作業で行っていますが、この作業の自動化に本市の取り組みが活用できることから、出前講座を通じて産学官の連携を図ることになりました。
- ・環境事業課は、令和4年度から衛星データ解析技術の開発や提供、衛星データの利用支援を行う(株)Solafuneと海ごみ問題の解決に向けた社会実証に取り組んでいます。

<https://www.city.okayama.jp/harmonia/0000048031.html>



【問い合わせ先】

岡山市 環境事業課資源循環推進室 吉田 直通086-803-1321 内線3937・3966

AI勉強会

シビック・テック × AI



市民の力を借りる「シビック・テック」を活用して海ごみ問題に取り組む山陽学園
中学校・高等学校 地歴部を対象に、岡山市域の航空写真をAIで分析することで
ホットスポット(海ごみの堆積場所)を見える化した(株)Solafuneの技術者による
出前講座を開催します。

2024. 2. 11  10:00 ▶ 17:00

講師 佐藤 功一 氏

プロジェクトマネージャー兼データサイエンティスト

英国の大学院にて統計学や計量経済学、社会調査手法
を学び、卒業後は開発コンサルタントとして途上国事
業の効果検証やインパクト評価に従事。その後、途上
国事業を担う国際協力機構（JICA）にて、衛星データ
を含む各種データの利活用を促進し、GIS・衛星デー
タ活用のエキスパートとして複数の国際会議で発表。
データを使って社会に貢献するのが好き。



講師 光武 亨 氏

テックリード（技術領域全般の開発）

九州大学大学院数理学府にて数理学を専攻し、数理統
計学やAIを中心に研究。在学中、ベンチャー企業でク
ラウド環境を活用したシステム設計に従事するととも
に、代表の上地とともにSolafuneを創業。旅が好き。



主催： 岡山市
問合せ： 環境事業課資源循環推進室 吉田
直通 086-803-1321

目的

- ・AIの使い方を知る（データサイエンティストの職業のイメージ構築）
- ・生徒が撮影・収集したごみの分類方法の理解

上記の取組みを通じて、参加者の海ごみ問題への関心を高めるとともに、産学官が連携を深め、次世代の社会活動等実践者を育成する。

開催場所

山陽学園中学校 山陽学園高等学校
【住所】岡山市中区門田屋敷2-2-16

対象

山陽学園中学校 山陽学園高等学校 地歴部

参加人数

15名程度

開始	終了	プログラム内容
10:00	10:30	Solafuneの紹介、岡山市での事業の紹介、日常生活におけるAIの紹介
10:30	11:30	今日の目的と最終目標の紹介、Pythonの基本的な操作 ・Hello World ・演算（足し算、引き算など） ・ライブラリーの紹介 ・画像の表示と操作（回転など）
11:30	11:40	休憩
11:40	12:30	演習 ・演算 ・画像処理
12:30	13:30	昼休憩
13:30	13:45	分類アルゴリズムの紹介
13:45	14:15	演習①（猫と犬の分類）
14:15	14:30	休憩
14:30	15:15	演習②（ごみの分類）
15:15	15:45	今日の振り返り、学生生活の勉強とAIの繋がり ・数学、物理、統計学、英語を学ぶことの重要性 ・AIへのチャレンジ（AtCoder, Kaggle, SIGNATE, その他）
15:45	16:00	質疑応答
16:00	17:00	閉会の挨拶 自由解散（引き続き作業や質問がある方は残る）